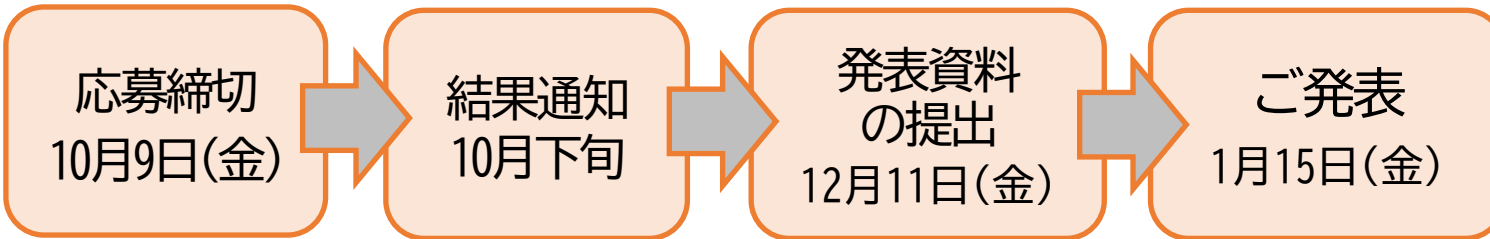


<応募要領>

1. 応募から発表までの流れ



2. 応募方法

発表申込書を事務局宛にご送付ください。メールにてご応募を受け付けております。申込書は下記ホームページからダウンロードをお願いします。

https://www1.logistics.or.jp/network/chubu_kaizen_application.html

《申込書記載内容》

- ①改善事例テーマ
- ②改善事例の概要（150 文字以内）
- ③改善の成果（定量的成果、定性的成果）等となります。

※詳細は上記ホームページにございます申込書（エクセルファイル）をご覧ください。

※企業および製品・サービスPR 内容でのご応募はご遠慮ください。

〈ご送付先〉

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 青柳 宛
〈chubu@logistics.or.jp〉

応募締切日 **2026 年 10 月 9 日 (金)**

※上記に間に合わない恐れのある場合は事務局までご相談ください

3. ご発表について

中部物流改善事例発表会2027 実行委員会にて、ご応募いただいた発表申込書の内容を確認したうえで、1月15日（金）開催の発表会にてご発表いただく事例を決めます（ご発表いただく事例を優秀事例として選出）。

発表会では1事例あたり20分程度の時間にてご発表いただきます。

※発表会当日のタイムスケジュールは事務局にて調整し、ご案内いたします。

4. 発表資料提出の締切時期

ご発表いただく方には、発表会にて配布する発表用資料の作成をお願いします。発表用資料作成の詳細につきましては、ご発表いただく方に別途ご案内いたします。

※発表資料提出締切時期：2026年12月11日(金)(予定)

～物流改善で物流危機を乗り越える！～

中部物流改善事例発表会2027 発表者募集のご案内

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）と一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会 では「中部物流改善事例発表会2027」を来る2027年1月15日(金)に開催いたします。

物流における改善事例を共有し、効率化や生産性向上、コスト適正化や標準化を推進し、労働力不足への対応、自動化・省人化の推進等の課題解決のヒントを物流の実務者同士が情報共有し合う場です。開催に先立ち、本発表会にて物流改善事例の発表者を募集します。

現場のちょっとした工夫から改善活動そのものの活性化の仕組みづくりまで身近な活動を気軽にご発表ください。皆様からのご発表をお待ちしております。

事例発表応募締切日：2026年10月9日(金)予定

【 中部物流改善事例発表会2027 】

【 開催日 】	【 開催場所 】
2027年1月15日(金)※午後予定	名古屋商工会議所 2階ホール (名古屋市中区栄)

※発表会当日は上記会場にてご発表いただきます。発表会の聴講は集合もしくはオンラインを予定しています。

◎例えばこんな改善の取り組みを発表してみませんか？

- ・簡単な治具を手作りし、ピッキング作業をしやすくした。
- ・作業の様子を動画で撮影し、各人の作業の良い点を共有した。
- ・誰でもどんな業務でもできるよう作業方法を統一し、勤務シフトの平準化に取り組んだ。
- ・ドライバーの意見に基づき安全教育を見直すことで事故削減、定着率向上を目指した。
- ・過去のデータを分析し、精度の高い作業スケジュールを策定、共有することで業務波動に対応した。
- ・個々の作業生産性を共有することで職場の一体感が増し、改善活動の活性化につながった。
- ・生産性向上のために行った現場業務の平準化、各種情報の標準化がDX推進につながった。



主催：公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人日本物流資格士会 中日本委員会

■募集内容

- ◎物流現場のちょっとした工夫等すぐに物流現場で活用できそうな改善事例
- ◎物流現場の生産性、物流品質、安全性、顧客サービスの向上やコスト低減、環境負荷低減、労働力不足への対応に取り組んだ事例
- ◎改正物流効率化法の努力義務への取り組み、コミュニケーションの活性化、モチベーションの向上、定着率の向上、改善活動のマンネリ打破、風通しのよい組織風土の醸成等につながった取り組み事例、５Ｓ活動 等

■過去発表者の声

ＱＣ活動を実践していたが、社内で発表する機会がなかったもので、この機会に発表できて良かったです。今後も改善の成果が出れば申込みたいと思います。
(物流子会社)

発表のための資料作成やブレゼンのリハーサルなどを行うことで、自身の取り組み内容を第三者にどのように伝えたらよいのかを考えるよい機会となりました。
(物流事業者)

他社の事例を聴講し、自社の改善活動のレベルや他社がどのような改善活動に取り組んでいるか知ることができ、とても参考になりました。
(3PL事業者)

■過去に発表いただいた主な企業一覧

アイシン、アイシン・ロジテックサービス、愛知海運、アイロップ、アシックス物流、アドバンスト・ロジスティックス・ソリューションズ、アトム運輸、あまの創健、アワーズ、伊藤忠製糖、伊東電機、井村屋、インテクスト、エイ・ダブリュ・サービス、エスプール、エムツーシステムズ、エリア中京、エルシーコープ、岡谷システム、カスミ、カナレ電気、カヤバ物流サービス、カリツー、川崎陸送、九州丸和ロジスティックス、グリーンサービス、ケーエルシー、ケー・シー・エス、ゲオ、厚生産業、サッポロ物流グループ、三愛ロジスティックス、ジェイティ物流、シーエックスカーゴ、システムギアソフテック、ジャトコ、西濃運輸、セイノー情報サービス、高末、デンソーエレックス、デンソーロジテム、ＴＯＴＯ、東陽倉庫、飛島コンテナ埠頭、豊田自動織機、豊通非鉄センター中北薬品、長浜キヤノン、鍋屋バイテック、ニチハ、日本貨物鉄道、日本トランスシティ、日立物流、富士精工、富士ロジテック、富士ロジテック・ビジネスソリューションズ、ブラザーロジテック、ホーユー、ポッカコーポレーション、ホンダロジコム、丸全昭和運輸、ミスミ、名港海運、山田化学、ヤマハ、ヤマハ発動機、ユニー、ロジックス、ロジワン、ワコール流通
(※順不同・原則として発表当時の御社名で記載しています)

■中部物流改善事例発表会2027 実行委員会

(敬称略、2027年7月現在)

委員長	名港海運(株)	川北 俊信	経営企画部
副委員長	のぞみ経営研究所	中野 昭男	代表(日本物流資格士会)
委員	愛知海運(株)	片桐 潔	国内物流部 部長(日本物流資格士会)
委員	(株)オプティマインド	齋藤 貴也	マーケティング統括責任者
委員	佐川グローバルロジスティックス(株)	金成 智久	中部エリアマネジャー
委員	(株)サンゲツ	洞口 敦	ロジスティクスセンター統括室長
委員	西濃運輸(株)	柳瀬 浩司	ロジスティクス部 部長
委員	日本トランスシティ(株)	平岡 豊	執行役員 経営企画部長
委員	(株)富士ロジテックホールディングス	井上 理	執行役員 ロジスティクス本部
委員	ブラザーロジテック(株)	山田 あゆみ	物流企画部 物流企画課 主任
委員	ロジ・ライノス	牧 克行	代表(日本物流資格士会)

■応募、発表、表彰等について

- ◎ 発表件数は7～8件程度を予定しております。
 - ◎ 発表いただく事例は取り組み領域、成果等を考慮し、実行委員会にて決定します。
 - ◎ 発表いただく方には発表資料の作成をお願いします。
★原稿枚数：10枚程度、パワーポイント原稿(原則)
※発表資料はテキストとして参加者にお配りします。
 - ◎ 発表時間：1事例20分間程度でご発表いただきます。
(詳細については選考結果通知の際にお知らせいたします)
 - ◎ 表彰：ご発表いただいた事例は優秀事例として、発表会当日、会場にて記念品を贈呈し、表彰します。
 - ◎ 発表応募：お申込書はホームページからダウンロードをお願いします。
- ## 事例発表応募締切時期:10月9日(金)

【 事例発表に関するQ&A 】

発表を検討されている皆様に向けて、よくあるご質問と回答をまとめた「事例発表Q&A」をご用意しました。応募時の参考資料としてぜひご活用ください。

Ｑ１．どの程度の内容・規模の改善事例が必要ですか？	Ａ１．物流現場でのちょっとした工夫や身近に行われている生産性、物流品質、安全性、サービスレベルの向上やコスト適正化、労働力不足への対応に取り組んだ事例等、物流に関する現場改善事例であればどのような内容や規模でもご発表いただけます。
Ｑ２．発表者は必ず１人で登壇しなければなりませんか？	Ａ２．複数名での登壇も可能です。 たとえば現場担当者と企画担当者が分担して発表する、部門をまたいだ取組を共同で紹介する、といった形式でもかまいません。
Ｑ３．応募時点で発表に関する資料はまったくできていないのですが…。	Ａ３．発表応募用フォームに記載いただく情報は当該事例に関する概要となります。 発表用資料の作成はご発表いただくことが確定(確定時期：8月下旬)してからお願いいたします。作成期間は8月末～10月末までのおよそ2か月となります。

上記以外のQ&Aにつきましても本発表会のHPにて公開していますので、ぜひご覧ください。
【中部物流改善事例発表会 事例発表に関するQ&A】
<https://www1.logistics.or.jp/network/la33/>

【 物流現場改善優良認定制度のご案内 】

物流現場改善優良認定制度は物流現場改善に積極的に取り組む皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業を認定することで、広く産業界に周知することをねらいとしています。

◎認定方法
日本ロジスティクスシステム協会が開催している全日本物流改善事例大会、各地区改善事例発表会において改善事例を発表する等、それぞれの内容に応じてポイントを取得できます。下表のとおり、取得ポイント数に対応した認定ランクを設定しています。認定企業は当協会の各種媒体での周知の他、下記のロゴマークデータをご提供し、自社の改善活動のPR等に活用いただけます。詳細は下記ホームページをご覧ください。

ロゴマーク					
ランク	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ
認定に必要なポイント	20以上	14～19	12～13	10～11	8～9

【物流現場改善優良認定制度ご案内ページ】
<https://www1.logistics.or.jp/propulsion/kaizenn.html>
※上記ページから、2026年度認定企業もご確認いただけます。ぜひご覧ください。